

## シラバス

授業のタイトル(科目名) ソーシャルワークの理論と方法(専門) I		授業の種類  ( 講義 ・ 演習 ・ 実習 )		授業担当者  増田 公香	
授業の回数  15回	時間数(単位数)  30時間(2単位)	配当学年・時期  4学年1学期		必修・選択  選択	
<b>【授業の目的・ねらい・到達目標】</b> 1.精神障害及び精神保健福祉の課題をもつ人に対するソーシャルワークの過程を理解できる。 2.精神障害及び精神保健福祉の課題を持つ人と家族の関係を理解し、家族への支援方法の基礎的知識を習得できる。 3.精神医療、精神障害者福祉における多職種連携・多機関連携の方法と精神保健福祉士の役割について理解できるようになる。					
<b>【授業計画】</b> 1 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの構成要素(原理・理念・視点・知識・技術) 2 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの展開過程 3 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの基本的視点(精神障害の特性、人と環境の相互作用) 4 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程①アウトリーチ 5 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程②インテーク 6 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程③アセスメント 7 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程④援助関係の形成技法 8 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程⑤面接の構造・マイクロカウンセリング等 9 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程⑥エコロジカルアプローチ・エンパワメントアプローチ 10 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークの過程⑦ケアマネジメントのプロセス 11 精神保健福祉分野における家族支援①家族システム論・ジャクソン7段階説 12 精神保健福祉分野に家族支援②家族のリカバリー・セルフヘルプグループ 13 精神保健福祉分野における多職種連携・多機関連携① 14 精神保健福祉分野に多職種連携・多機関連携②チームビルディング 15 精神保健福祉分野における多職種連携・多機関連携③事例分析					
<b>【使用テキスト・参考文献】</b> 日本精神保健福祉士養成校協会編『新精神保健福祉士養成講座』中央法規			<b>【単位認定の方法及び基準】</b> 1. 試験(期末レポート)70% 2. 授業中のレスポンスやミニレポート30%		